

SSHマレーシア海外研修

本年度は普通科と理数科の生徒あわせて27名の参加となりました。今年度から始まった九州工業大学マレーシアキャンパス(MSSC)での研修も含めて5泊6日の日程で実施されました。(平成27年1月3日(土)から1月8日(木)まで)

① 市街地調査(クアラルンプール)

マラ工科大学国際教育カレッジ日本高専予備教育コース(以下KTJ)の学生約30名がガイドを務め、クアラルンプール市街を探索しました。生徒たちは都市機能の発達状況を知るとともに、科学技術の発展が都市や国家を支えてきたことを実地見学の中で学び、科学技術開発の重要性について認識を深めました。(写真:クアラルンプール市街)



② 鍾乳洞探索

バター洞窟にてダークケヴツアーに参加しました。大きな洞窟内を歩くツアーの所要時間はおよそ1時間。ガイドによる英語の説明を受けながら、洞窟内の生態系、鍾乳洞、岩石の構成、洞窟の生成過程等を学びました。また、珍しい生き物も目の当たりにすることができました。(写真:洞窟入り口)



③ マラヤ大学附設植物園

マラヤ大学の構内にある80ヘクタールの熱帯植物園を訪問しました。「Rimba Ilmu」マレー語でForest of Knowledge(知識の森)と呼ばれるこの熱帯植物園には1600種類以上の植物が植えられています。

大学職員から熱帯雨林気候下で生育している植物や、熱帯の自然環境との関係等について英語で説明を受けました。(写真:植物園内で説明を受ける)



④ マラ工科大学授業参加

K T J を訪問し、現地学生とともに英語による数学、化学、物理の授業を受講しました。班ごとに課題学習に取り組み、現地学生と熱心に議論しながら解答を導き出すことができました。夕食後、学生との交流会を通して、友好を深めることができました。



⑤ 九州工業大学マレーシアキャンパス(MSSC)

九州工業大学マレーシア校 (M S S C) で、午前中はバイオマス関連の説明及び現地学生の案内による施設見学を通してバイオマスとは何か (写真)、温暖化ガス削減にいかに関与できるかなどについて学びました。午後は班別に自分たちの調べたことについてプレゼンテーションを行いました。(写真)

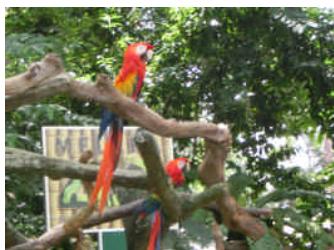


⑥ マラッカ市内建造物調査

8名のムザファ・シャー科学中等教育学校生徒とマラッカ市内にある歴史的な建造物 (ファモサ要塞跡、セントポール教会礼拝堂史跡、クライストチャーチ (写真)、ザビエルチャーチ等) を調査しました。



⑦ マラッカ動物園



合計 215 種 1200 頭以上の動物が飼育されているマラッカ動物園を訪問しました。国内で二番目に大きい動物園で、多くの鳥、両生類、爬虫類、哺乳類、昆虫などが飼育されています。日差しの強い猛暑の中、生徒たちは熱帯特有の動物たちを熱心に観察しました。

事後指導

- 研修報告書の作成：1 月末までに学んだこと等を報告書にまとめます。
- SSH 活動報告会 (1 年生対象)：2 月 18 日 (水) の午後、調査したこと、学んだこと等について 1 年生 6 班がポスターセッションを行います。そのうち 3 班は英語でプレゼンテーションも行います。